

# 校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R4,1,12

NO.33

## 第3学期の始業式を行いました

1月11日(火)、17日ぶりに学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。冬休み期間中、子供たちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく、安全に過ごせたことは何よりも嬉しいことでした。

朝、校門で子供たちを迎えましたが、楽しかったことが多くあったであろう冬休み明け、またあいにくの雨模様ということで、心なしか子供たちの足取りは重く、うつむき加減の子供が少なくなかったように感じました。しかし、さすが龍峯っ子、そういう中でも多くの子供がきちんと集団で登校してきました。(毎学期最初の1週間は、交通安全の確認と生活リズムの調整のために集団登校を実施しています)

高学年の子供が、低学年の子供を守るように先頭と最後尾をしっかりと固めて、低学年の子供も遅れないようにきちんと並んで歩いている様子を見て、安全確保や生活リズムの調整のみならず、責任感や協調性、思いやりなどの人間力も磨けているんだろうなあと思いながら見ていました。

始業式は、感染拡大防止対策を講じた上で、体育館にて行い、「3学期は次の学年につなげていくための準備のときでもある。何をすることも準備をして臨むと、いい結果が出やすい。この1年間をきちんと振り返り、よい準備をして来年度に備えよう。」という内容の話を、日本ハムファイターズの新庄剛志監督が阪神タイガースの選手時代に、しっかりと準備をしてから試合に臨んでいたという逸話をもとに話しました。

## 「心のアンケート」結果から(パートI)

12月に、いじめの未然防止と早期解消を目的に、「心のアンケート」(県教育委員会調査)を行いました。この結果について、数回に分けてお伝えします。

### 問1「学校は楽しい」(昨年度比)

【肯定的な回答】楽しい=70%(-4%)、まあまあ楽しい=27%(+4%)

【否定的な回答】あまり楽しくない=3%(±0%)、楽しくない=0%(±0%)

### 問2「誰かの役に立っている」(昨年度比)

【肯定的な回答】ある=39%(-9%)、少しある=50%(+15%)

【否定的な回答】あまりない=7%(-1%)、ない=4%(-5%)

### 問3「自信のあるとこや自慢できるものがある」(昨年度比)

【肯定的な回答】ある=53%(-10%)、少しある=23%(+3%)

【否定的な回答】あまりない=16%(+7%)、ない=8%(±0%)

- ・問1にて、肯定的な回答が97%だったことから、学校への関心や学習への意欲等の高さがうかがえる。昨年度比は、ほぼ変化なしだった。
- ・問2にて、肯定的な回答が89%だったことから、自己有用感の高揚がうかがえる。昨年度比は、「ある」が減少し「少しある」が増加したが、肯定的な回答でみると+6%で増加した。
- ・問3にて、肯定的な回答が76%だったことから、自己肯定感の高揚がうかがえる。しかし、肯定的な回答が昨年比7%減少した。

この「関心や意欲」「自己有用感」「自己肯定感」は、生活全体への喜びや困難などへの耐性に繋がる大切なものなので、今後も自分や仲間の良さを発見する取組や日常的な認め・褒め・励まし・伸ばす指導の継続、学校行事等を中心にしたその過程等における賞賛(チャレンジしたことを賞賛するなど)を全職員で行っていきたい。その際、これまであまり実感を得られていない子供を中心に据えたい。

本校では、この調査以外に、本校独自の調査として年間3回の心のアンケート調査やそれに基づいて教育相談を行い、いじめの未然防止及び早期解消に努めています。ご家庭においても、冬休み前に配付しました「子どものサイン発見チャックリスト」をもとに、お子様の様子を観察していただき、当てはまる項目が度重なる際には、学校へご相談ください。